

～ Serving the *Community* and Supporting the *YMCA* since 1976 ～

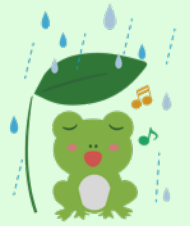


埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ : **Stronger tie with the Y!**

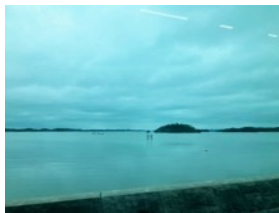
2026
6月



2025-26 年度クラブテーマ : 「市民と繋がろう・市民に知らせよう」

第 29 回東日本区 大会@石巻

東日本大震災 15 周年。で、今期区大会会場をあえて石巻に決め、全国メンに参画を激奨し、主導したホストクラブ、区役員、多くの支援メンにアップレ！全国から 300 余メンが電車を乗継ぎ乗継ぎ馳せ参じ、旧交を沸騰させた。Ys に連なる誇りと喜びを覚えた。今月ブリテンは退任する浅羽会長と、衣笠次期会長に、それぞれの思いや目標等を寄稿してもらった。ブリテンに掲載し続けた堀和メンの俳句は今月で終了。



[写真メモ] 6月6日の区大会共有写真などから抜粋。
左上：早朝車窓から見た松島湾。続いて諸会合、
バナー披露、学生と交流、ラオスYアピール能登支
援で漆器販売する夫婦。最後 左下：佐藤宗幸のリ
ードで「花は咲く」を歌う晚餐。盛り沢山。

今月の聖句

「私たちは見えるものではなく、見えない
ものに目を留めます。見えるものは一時的で
あり、見えないものは永遠に続くからです。」

コリント人への第2の手紙4章18節

(新改訳2017)

7月夜(ヨル)談会

日時：7月13日(月)：18時～20時

会場：浦和東口「サイゼリヤ」

*会費：各自の飲食した分のみ。

市民活動を実践する人、興味ある人が安心して知り
合い、楽しく会話を進めるうちに異体験を共有し、見
識を広げるさばけた大人の集いです。(平均6～10人)

7月「新年度キックオフ」例会

日時：7月20日(月)10:00～12:00

会場：市民活動サポートセンター(パルコ9階)

話し合い：「新年度を語り合う」

◆❖◆❖◆エッセイズ◆❖◆❖◆

◆「埼玉クラブ（2026-2027 期）に向けて」

次期会長 衣笠輝夫メン



埼玉ワイズメンズクラブの歴史は 1976 年の設立から今年で 50 年になります。

この 50 年の歴史を振り返る時、多くの方がクラブのために尽くされ、活動されたことを思い起こします。その一つひとつの歴史の中に、埼玉クラブを導かれた主の恵みを覚えます。その主の恵みを時間をかけてゆっくりと数えていきたいと思っています。そしてその想いを基に、10 月 30 日の埼玉クラブ設立 50 周年記念の催しを企画します。

2026-2027 期の埼玉クラブの歩みは、この 50 年の歩みの上に、さらに豊かさを増し加えていきたいと願っています。

浅羽直前会長が敷かれた「市民と繋がろう・市民に知らせよう」との市民活動の拓がりの中で「ジェンダーに関する学び」が始まりました。この学びを多くの女性の方々の参加のもとに継続していくことが重要だと思います。現在埼玉クラブの構成は男性のみですが、女性会員を入れることで「ジェンダーの学び」がより深くしていくことができると考えています。

次期（2026—2027 期）埼玉クラブの会長方針

会長主題：設立 50 年の歩みの上に

目標 1：埼玉クラブ設立 50 周年記念の催しを開催
日程 2026 年 10 月 30 日（金）

目標 2 ジェンダーの学び

目標 3 女性会員の獲得



[左] 2006 年クラブ設立 30 周年記念例会

[下] 2009 年クリスマス祝会



* 衣笠次期会長に思い出写真を依頼したところ数点いただき、その中から 2 点を掲載。（編集士）

◆「チームに甘えて 5 年」

今期会長 浅羽俊一郎メン



会長 5 年間を振り返る。2020 年と言えば、先に所属していた東京山手クラブが 6 月に惜しくも解散し、7 月に埼玉クラブに転会した、私にとっては特別な年。そして世界中がコロナ禍に翻弄させられた年でもあった。

浦和 YMCA での例会も歌声活動なども休止。でもメンとは親しくなった。そして翌年度の会長職を引き受けることとなった。コロナ禍中だったが、幸いにも私が始めたばかりの地域活動「き咲きてらす」で例会を持ち、私自身大いに励まされた。十勝クラブ応援を謳って「よつ葉牛乳を飲もう」をクラブからアピールできたことを懐かしく思い出す。



5 年間の会長職の前半は明けても暮れてもコロナ禍。後半は浦和 YMCA が閉館。月一の例会において、新米会長の私には皆人と話し合って活動を進める余裕もなく、ついやりたいうようにやらせてもらった。改めてこの 5 年間のメンの忍耐に感謝し、合わせてチームワークを損ねたことは謝りたい。

以下 5 年間の印象に残ったことをいくつか挙げたい。成否の判断は今後の検証を待ちたい。

- ・ 会費免除会員の導入を試みた
- ・ 高齢化のため例会開催を日中に移動
- ・ ブリテンの広報誌化（メンの助言による）
- ・ ワイズの可視化（Y 閉館で会場はパルコ 9 へ）
- ・ ジェンダー学習（メン自身の覚醒へ）
- ・ 新入会者 3 人（女性入会は果たせず）
- ・ 市民の夕食会「夜談会」（青蓮→サイゼリヤ）
- ・ ワイズ信条（内容と唱和）の見直しを提案
- ・ 新バナーに T シャツを採用（評価割れる）

YMCA 職員だった頃も数えるとワイズとは 25 年の付き合いになる。活動を通して多くのメンと知り合った。海外にも友ができた。今振り返ると、諸々の活動よりもメンと過ごした経験が芳しく記憶に残っている。他にもいくつかグループに所属してきたが、ワイズダム（Y'sdom）は格が違う。ワイズ経験を人に語りたいが、どうも経験の世界を知るには個々人が経験するしかないようだ。❖

「父の日」とアメリカ YMCA

父の日は一世紀前、YMCA から始まった！

1882 年アーカンソー州生まれのソノラ・スマート・ドッドは、家族とともにワシントン州スポケーンに移り住み、そこで父親のウィリアムに育てられた。南北戦争の退役軍人だったウィリアムは、妻を分娩中に亡くし、一人で 6 人の子供を愛情と規律と強い意志で育てた。

初の母の日礼拝が 1908 年に守られ、その後ジャービス女史の尽力で 1914 年に正式に制定されていた。



ソノラは父親も母親のように敬愛を表する日があっても良いと考え、翌年の母の日礼拝中に「父の日も祝おう」と思いついた。スポケーンの牧師会や地元 YMCA など複数の団体に呼びかけた。そして家族、人格形成、地域社会への奉仕に努めていた

YMCA がすぐに支持を表明した。

1910 年 6 月 19 日、スポケーン YMCA と地元の教会で、最初の父の日祝賀会が開催された。これはその後の全国的な運動の始まりとなったが、道のりは険しかった。父の日を不必要だ、商業的だ、母の日の模倣だ、と批判する人も少なくなかった。しかし、ソノラと支援者たちは諦めず、教会、市民団体、そして特に全国の YMCA の支援を受けて、父の日は徐々に人気を集めていった。そして各地の YMCA が毎年この企画を広めていった。

1924 年にはクーリッジ大統領が父の日を公に支持したが、さらにこの日が恒久的な国民の祝日として毎年 6 月の第 3 日曜日に祝われるようになったのは、1972 年にニクソン大統領が法律に署名してからだった。

父の日を祝うことで、私たちは単に「父」を称えるのではなく、責任感、思いやり、献身といった価値観を再確認し、私たちを育てた人々に感謝の気持ちを伝え、さらに父親の役割が選択肢ではなく、不可欠なものとして捉える文化を築いているのである。父の日は、粘り強さ、愛情、そしてコミュニティの力を物語る日でもある。

* 今月は「父の日」とアメリカ YMCA の話。2025 年 6 月 25 日付南フロリダ YMCA の HP 記事をグーグル翻訳し短縮・編集したもの。(編集士)

* 埼玉クラブが埼玉 YMCA にもっと親近感をもって支援できるように普段見られない活動のスナップを YMCA 職員がブリテンを通して共有してくれています。

全国の YMCA で毎年夏の時期に行なわれている「全国 YMCA ウォーターセーフティキャンペーン」が今年も実施中である。所沢センターでは 6 月 28 日(日)に実施し、こども、保護者合わせて 54 名の参加があった。プログラムは講義と実技を行ない、講義は所沢センタースタッフが作成した VIDEO を見て水辺の危険から身を守る方法を学んだ。実技はプールで服を着て泳ぐ「着衣泳」を行なった。原則、服を着た状態



では水に入らない、ということ指導し、万が一入ることになってしまった場合の対処法を体験した。参加者からは「動きにくい」「服が思ったより重くなった」などの声が聞けた。

7 月には近隣小学校に出向いて水上安全指導とハンドブックを配布予定である。神様から与えられた生命を守り育む活動として今後も力を入れていきたい。

所沢センター職員 新井隼斗 記



* 子ども達の写真掲載については保護者の了解を得ております。(編集士)

活動・会議メモ

◆第29回東日本区大会（6月5日～7日@石巻）

本ブリテン編集士は5日の前夜祭も7日の礼拝・バスツアーも欠席。6日の本大会にのみ参加。早朝石巻駅から他クラブのメンとバスで30分、郊外の河北総合センターへ。大会テーマは15年前の震災を思い「瓦礫 命 感謝 次の未来へ！」だ。



午前中は代議員会、ユースの時間など各種会議。午後から本大会。地元高校生の管楽演奏、バナーセレモニー、来賓挨拶、役員交代、表彰式などが目白押し。私は廊下で大島博幸牧師と再会。40分ほど衣笠メンと一緒に福島市の新教会堂やYMCA設立準備の話聞いた。グランドホテルでの晚餐会場は再会で賑わったが、流石に佐藤宗幸さんの「花は咲く」は皆聴き入った。私は漆器販売で能登の復興をアピールしている輪島の柴田夫妻と偶然再会できて嬉しかった。

15年前の大震災とその後、またコロナ禍も共に支え合って今に至った。ワイズ仲間は本音で繋がっていると実感した区大会だった。

* 埼玉クラブから上松、衣笠、浅羽が参加。（浅羽 記）

◆6月「夜談会」



6月8日の夜談会は18:00～20:00で浦和サイゼリアに老若男女10人が集まって大いに盛り上がった。（浅羽 記）

* ゲスト：長谷川、大輪、浅香、干、上松 e、浅羽 m

* メン：衣笠、高岡、上松、浅羽

◆6月「父の日」例会

6月15日（月）午前10時からサポセンのラウンジで開会。年度末の感想をシェアし、衣笠次期会長の方針を伺い、50周年行事を確認した。（浅羽 記）



[メン] 浅羽、伊藤、上松、金子、衣笠、桜井、高岡、水無瀬（ズーム）



仲間からの便り



◆金子恒夫メン（5月入会・77歳）の自己紹介文

旅行業界8年、航空業界3年、貿易商社通産17年、1999年に移住（海外・国内）コンサルタントとして独立。ビザ取り職人、国内移住用のミニハウス設計・販売などを行う現役です。母から畑を相続することになり、ドイツで見たミニログハウス付家庭菜園で親子3代が「畑遊び」してるのにヒントを得て、5年前から芝生広場、南欧風貸農園「花野菜農園」も運営しています。ワイズとの出会いは自宅近くの「き咲きてらす」で浅羽会長と交流しだしたのがきっかけです。どうぞよろしくお願いします。



◆ 今月の俳句 堀和光二郎メン（俳号 愚道）

部屋干しの洗濯物に扇風機

毎日鬱陶しいですね。洗濯物が乾かないので扇風機を下からかけています。



ツルツルとユックリするトコロテン

久しぶりにスーパーでトコロテンを見つけました。ユックリすすらないとお酢でむせますね。

紫陽花や母を送りてまだ七日

義母が100歳で亡くなりました。イロイロお世話になりました。

* 2022年11月以来毎号掲載させていただいた俳句ですが、今月で終わられます。ハガさん、長い間本当にありがとう。これからも繋がっていきましょうね。（編集士）

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
6月夜談会 (6 / 8)	10	4	6
5月例会 (6 / 15)	8	8	0



ワイズメンズクラブ ご案内

ワイズメンズクラブ国際協会（Y's Men International）は青少年教育団体 YMCA を支援する国際的奉仕クラブで、若者と地域への奉仕と、国内外の交流を大切にします。肩書き/性別/政治/宗教/年齢差を問わず皆対等です。奉仕活動してみたい方向いています。埼玉クラブは浦和区を拠点に活動しています。先ず月例会の雰囲気味わってください。年会費4万円ですが、会費無しでも一緒に活動できます。

* 詳細は浅羽まで。（090-7426-5553）